

# 大牟田市地域公共交通網形成計画 概要版

平成30年3月

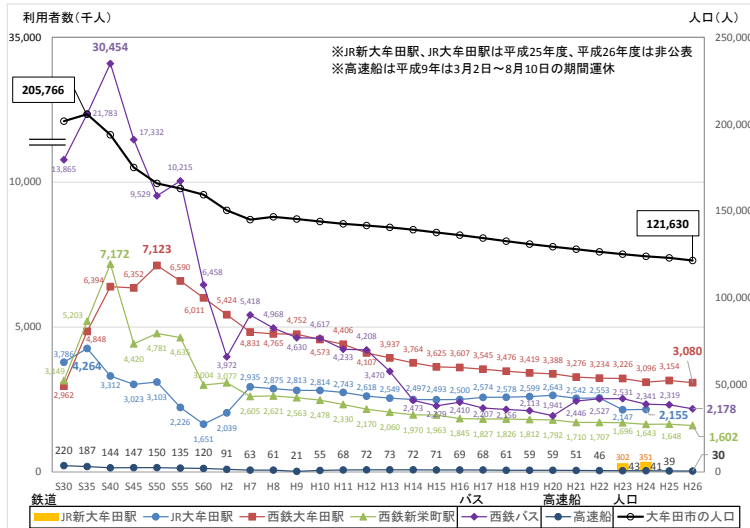
大牟田市

# 計画の概要

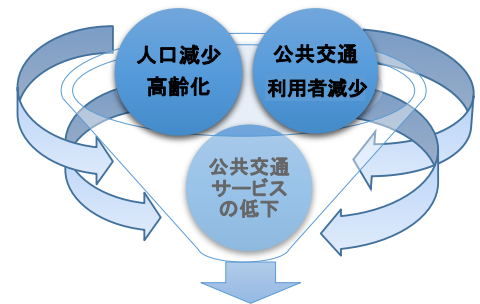
## 計画策定の背景と目的

- 大牟田市の公共交通網
  - …公共交通サービスの人口カバー率が8割を超え、充実した公共交通網
- 公共交通利用者の減少
  - …公共交通利用者数は昭和40年頃をピークとして減少傾向
- 人口減少・少子高齢化
  - …昭和35年以降、人口減少が続き、今後も人口減少、少子高齢化が続く
- これからのまちづくり
  - …都市のコンパクトシティ・プラス・ネットワーク化に対応した公共交通網の構築

人口、公共交通利用者数の推移



負のスパイラルのイメージ



公共交通利用者の更なる減少  
(負のスパイラル)

本市の公共交通の指針となる当面必要な事業及び将来を見据えた対応等を盛り込んだ「大牟田市地域公共交通網形成計画」を策定しました。

**計画の位置づけ** : 本計画は大牟田市まちづくり総合プランを上位計画、大牟田市都市計画マスタープラン(改定中)、大牟田市立地適正化計画、大牟田市中心市街地活性化基本計画等を関連計画として位置づけ、また周辺市町(特に荒尾市)との公共交通に関する計画とも連携をとった計画とします。

**計画の期間** : 平成30年度～平成34年度の5年間

**計画の区域** : 大牟田市全域を対象

※なお、周辺市と結ぶ広域公共交通路線を考慮し、市域外(隣接するみやま市、荒尾市、南関町)も場合により対象としますが、特に市街地が連坦するとともに交通流動が多い荒尾市との連携に留意

## ■ 地域公共交通の課題

大牟田市の地域公共交通を取り巻く課題を以下の通り整理しました。

### 課題 1. 市内の移動を支える公共交通の確保が必要

⇒公共交通利用者減少に歯止めをかける対応、将来の人口減少・高齢化を見据えた市内の移動を支える公共交通の検討、維持・確保が必要

課題 1-① 中心部(国道 208 号)の密な運行の維持

課題 1-② 効率的な公共交通網の形成

課題 1-③ 観光移動への対応

課題 1-④ 交通弱者への対応

課題 1-⑤ 公共交通空白地域の解消

課題 1-⑥ 待合環境の改善

課題 1-⑦ 多様な交通手段の連携

課題 1-⑧ 都市のコンパクト化に対応した公共交通網の形成

### 課題 2. 広域な移動を支える公共交通の確保が必要

⇒周辺地域との流動を支える公共交通の維持・確保が必要

課題 2-① 周辺市町との公共交通網の維持

課題 2-② 鉄道とバスの接続改善

課題 2-③ 交通結節点での乗継案内、乗継環境の改善

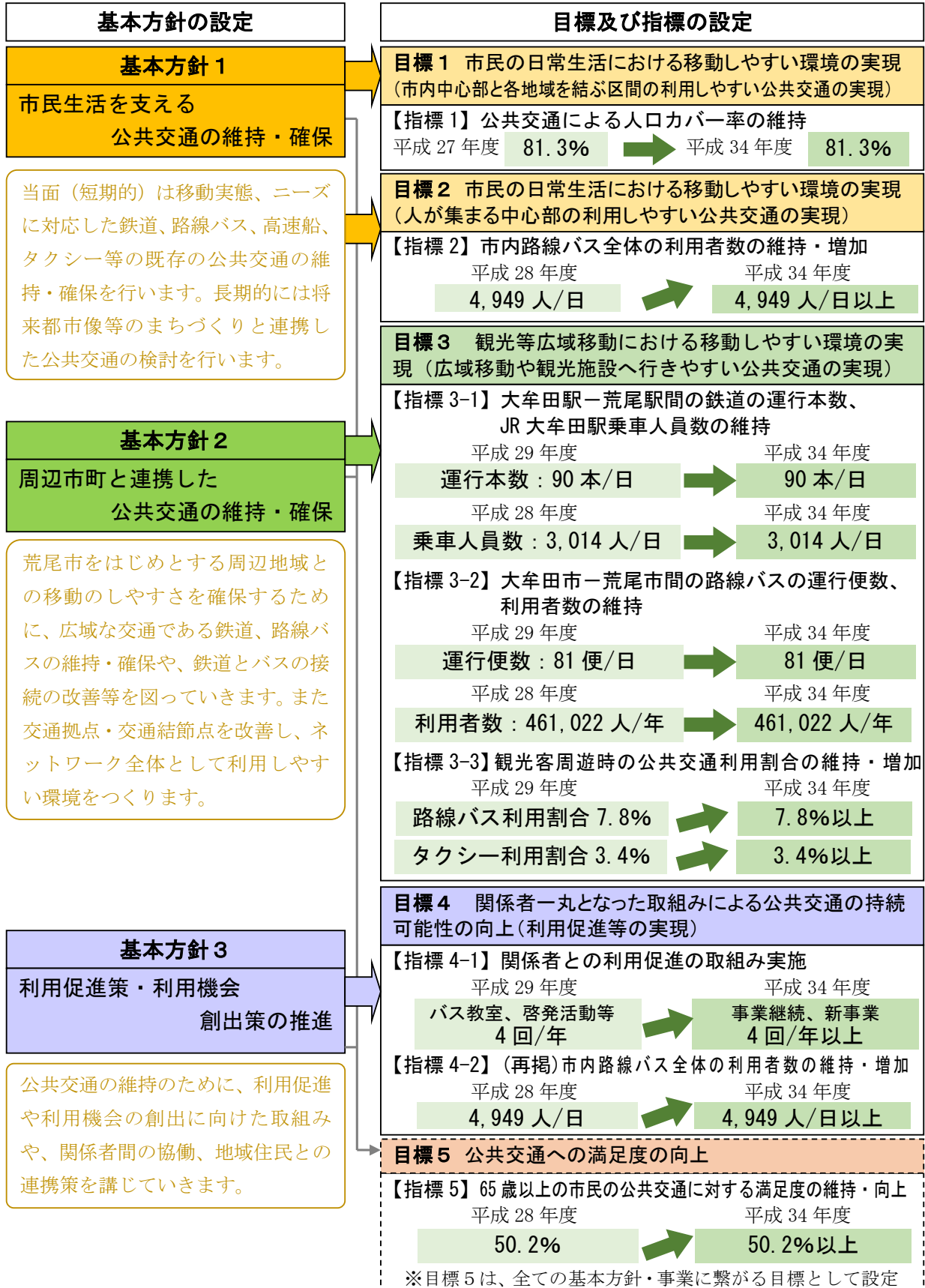
### 課題 3. 人口減少下における公共交通の維持・確保に向けた利用促進が必要

⇒市民、関係者一体となった公共交通利用促進の取組みが必要

課題 3-① 公共交通の利用機会創出、利用促進

# ■ 地域公共交通の基本方針と目標値

課題に対して、地域公共交通網の形成に向けた3つの方針、これに対応する5つの目標を設定しました。



## ■大牟田市が目指す地域公共交通の将来像

長期的（概ね20年後）な都市像を見据え、本計画（短期的として概ね5年後）の取組みを展開します。



## ■ 計画の事業内容

### 事業 1 市内路線バスの維持・確保

	事業内容	H30	H31	H32	H33	H34	H35～
(1)	非効率な路線への公的支援の実施	実施					
(2)	路線バスで非効率な部分の見直し	検討・実施					
(3)	拠点（都市・地域・地区）間の維持・確保	検討					検討・実施

### 事業 2 観光施設へアクセスする路線の確保（施設アクセス）

	事業内容	H30	H31	H32	H33	H34	H35～
(1)	来訪者が増加している動物園までを結ぶ新たな路線バスの乗り入れ検討	検討・実施					

### 事業 3 観光施設へアクセスする路線の確保（広域周遊）

	事業内容	H30	H31	H32	H33	H34	H35～
(1)	周遊交通の導入	検討・実施					
(2)	観光施設アクセスの案内充実	検討・実施					
(3)	レンタサイクルの充実	検討					実施

### 事業 4 公共交通空白地域の解消に向けた検討

	事業内容	H30	H31	H32	H33	H34	H35～
(1)	公共交通空白地域の解消に向けた検討・実施	検討		実施			

### 事業 5 交通手段間の連携の検討

	事業内容	H30	H31	H32	H33	H34	H35～
(1)	多様な交通手段の連携	検討・実施					

**事業6** 待合環境の改善

	事業内容	H30	H31	H32	H33	H34	H35~
(1)	中心市街地活性化エリア内の路線バス停留所の環境改善	検討・実施					
(2)	鉄道駅の待合環境改善	検討・実施					

**事業7** わかりやすい中心部路線の検討

	事業内容	H30	H31	H32	H33	H34	H35~
(1)	バス停における標記改善	検討・実施					
(2)	パターンダイヤ化	検討・実施					
(3)	わかりやすい系統番号	検討・実施					

**事業8** 地域間路線バスの維持・確保

(1)荒尾市との広域交通の維持・確保

	事業内容	H30	H31	H32	H33	H34	H35~
i	現状の鉄道と路線バスの運行本数の維持	実施					
ii	地域間移動の拡充検討	検討		実施			
iii	地域間乗継拠点（倉掛バス停）における接続改善	検討・実施					

(2)みやま市との広域交通の維持・確保

	事業内容	H30	H31	H32	H33	H34	H35~
i	みやま市との広域交通の維持・確保	検討				実施	

(3)南関町との広域交通の維持・確保

	事業内容	H30	H31	H32	H33	H34	H35~
i	現状の運行便数の維持	実施					
ii	路線バスと南関町の予約型乗合タクシーの乗継ぎ拠点化の検討	検討		実施			

## 事業 9 鉄道とバスの乗継利便性の向上

	事業内容	H30	H31	H32	H33	H34	H35～
(1)	大牟田駅での鉄道発着に合わせた路線バスのダイヤ改善	検討・実施					
(2)	新大牟田駅での新幹線発着に合わせた路線バス、高速バスのダイヤ改善	検討・実施					
(3)	高速バスによる大牟田駅～新大牟田駅間の快速利用の推進、接続に関する案内の提示	検討・実施					
(4)	大牟田駅の乗継案内改善	検討・実施					

## 事業 10 利用促進に向けた活動実施や情報提供の充実

	事業内容	H30	H31	H32	H33	H34	H35～
(1)	公共交通マップの作成	検討	実施				
(2)	モビリティ・マネジメントの実施	検討・実施					
(3)	乗り方教室や出前講座の開催	実施					
(4)	周辺市町と連携した公共交通利用促進	実施					
(5)	バスに親しみを持つための体験・実施	実施					

## ■ 計画の進め方

- 「行政」「市民」「交通事業者」の協働、連携により、計画目標の達成に向けて進めていく必要があります、それぞれの役割分担を明確にし、実施していきます。
- 計画の策定（Plan）、施策・事業の実施（Do）、進行管理・評価（Check）、見直し・改善（Action）を繰り返す PDCA サイクルの考え方により推進していきます。

### 大牟田市地域公共交通網形成計画【概要版】

大牟田市 都市整備部 都市計画・公園課 国県道路対策室  
 〒836-8666 福岡県大牟田市有明町 2 丁目 3 番地  
 0944(41)2783(直通)



## (参考) 協議経緯

本計画の策定にあたっては、以下の協議会等を開催し、協議を行いました。

第1回 大牟田市地域公共交通活性化協議会（平成29年3月27日）

議題：協議会設置、計画策定について

第2回 大牟田市地域公共交通活性化協議会（平成29年8月2日）

議題：今後の進め方、基礎的状況の整理、各種調査の実施について

第1回 大牟田市地域公共交通活性化協議会分科会（平成29年8月24日）

議題：計画の骨子、事業内容について

第2回 大牟田市地域公共交通活性化協議会分科会（平成29年10月13日）

議題：事業者意見、事業概要について

第3回 大牟田市地域公共交通活性化協議会分科会（平成29年11月7日）

議題：各種調査結果、計画の骨子、計画素案について

第3回 大牟田市地域公共交通活性化協議会（平成29年11月16日）

議題：各種調査結果、計画素案について

第1回 大牟田・荒尾地域公共交通活性化合同協議会（平成29年11月21日）

議題：両市の現状、課題、計画の方向性について

＜パブリックコメントの実施＞

（平成30年1月20日～平成30年2月15日）

第2回 大牟田・荒尾地域公共交通活性化合同協議会（平成30年2月23日）

議題：両市の計画内容、連携して取組む具体的な施策について

第4回 大牟田市地域公共交通活性化協議会（平成30年3月27日）

議題：パブリックコメントの結果、計画案について